

令和7年度 学校評価(自己評価)結果公表シート

令和 8年 4月 2日
足利大学附属幼稚園
園長 末武 義崇

1. 幼稚園の教育目標

仏教精神に基づき「広くやさしい心をはぐくむこと」を教育方針とし下記5項目を教育目標とする

1. のの様、ご先祖さまを大切にす。
2. 命あるものを慈しむ。
3. 明るく元気で友達と仲良くする。
4. 優しい思いやりの心を育てる。
5. 我慢強く努力する力を養う。

2. 本年度に取り組む重点的目標

1. 基本項目(教育目標や日常業務への取組み)の実践
2. 子どもとのかかわり(園児教育に対する取組状況)
3. 保育環境(教室や遊具など)の整備
4. 保護者とのかかわり(園児に対する情報共有や保護者とのコミュニケーション向上)
5. 職場内外における関係者とのかかわりと自己啓発

3. 重点的目標の達成及び取組状況の自己評価(総合評価)

- ◎5 とても良くてできた 4 良くてできた 3 概ねできていた
2 あまりできていない 1 できていない

※教職員が1学期および2学期に自己評価を実施。その結果を分析し園としての本年度総合評価を行った。

評価項目	園評価	理由
1. 基本項目の実践	4	・幼稚園教育要領をもとに発達年齢に即した指導計画の立案および実践、振り返りを実施。保育会議と称し、教員間で受け持ち学年の園児の様子を話し合い年齢に適した製作物の提案など発達に応じた指導がきめ細やかにできるよう工夫した。 ・安全点検や衛生チェックなど徹底し危険箇所を教員全員で確認しあうことにより早期改善が図れているように思う。
2. 子どもとのかかわり	4	・園児一人ひとりの観察、記録などを通し個々に合わせた関わりや興味関心をとらえ、クラス毎の園児の様子や情報共有を教員間でしっかり行っていることで、どの教員がどの園児に対応しても同じように関わるができるようになってきている。

評価項目	園評価	理由
3. 保育環境の整備	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害やバス閉じ込め事故などのあらゆる有事を想定し、定期的に訓練や安全点検等実施している。 ・園児の興味や季節の自然物に関しては環境構成に工夫し行うことができた。子どもたちの興味関心に合わせた環境構成を整えていくことに意識を向けていくことができた。
4. 保護者とのかかわり	4	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや電話連絡を中心に子どもの様子やクラスの状況など保護者の方とコミュニケーションを図ってきた。 ・年度末に保護者アンケートを実施し、保護者からの意見を伺い次年度以降の園行事に役立てられるようにしたい。
5. 職場内外における関係者とのかかわりと自己啓発	3	<ul style="list-style-type: none"> ・老人ホーム訪問や消防署、小学校など地域の施設見学や交流を図ることができより良い関係性の構築へ繋がった。 ・教員は積極的に外部研修に参加し自己研鑽に努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画に対する総合的な評価結果

結果	総合評価	理由
全体的に良好な状態といえることから「4」と評価できる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の自己評価を基に教職員それぞれが課題意識を持ち個々に改善がされたようで自己評価でも向上が見られた。 ・項目によっては低い評価をする項目があったが、それは他の教員の係りに関する事柄であるため自己の高評価を付けていないというものであったようで総合的に見れば概ね良好であったと言える。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
「自ら確認を行い安全点検する」の項目で改善すべき点が見られた	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検や衛生チェックなど徹底し危険箇所を教員全員で確認しあうことにより早期改善が図れているように思う。ただ、定期的、それでよいのかを再確認したり、新たな危険場所はないかなど別の視点で確認することも必要に感じている。
「保育環境の整備」において改善が必要である	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味持てるような環境攻勢や壁面装飾など各教員が試行錯誤して整えているが、園全体としてもう少し工夫があると良いように感じている。園児が自由に使える道具や用具の充実を課題としていたが、少しずつ増やしていけるように引き続き環境を整えていきたい。